

平成16年9月期 決算説明資料

(平成15年10月1日 ~ 平成16年9月30日)

平成17年 2月 2日

ひとを大切に。自然を大切に。

ホウライ株式会社



目次 ~ CONTENTS

1. 平成16年9月期決算概要

1-1	業績サマリー	1
1-2	営業収益・営業総利益の実績	2
1-3	事業部門別実績	3
1-4	経常利益・当期純利益の実績	5

2. 平成17年9月期計画概要

2-1	計画サマリー	6
2-2	営業収益・営業総利益の計画	7
2-3	事業部門別計画概要	8
2-4	経常利益・当期純利益の計画	10

(ご参考)	主要な経営指標等(実績)の推移	11
-------	-----------------	----

(ご参考)	事業内容のご案内	12
-------	----------	----

本資料の見通し(予想値)は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため 実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により、予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、本資料に記載の金額(実績)については、百万円未満の金額は切り捨てて表示しております。

1-1 平成16年9月期 業績サマリー



(単位:百万円)

	第120期実績 (平成15/9月期)	第121期実績 (平成16/9月期)	前期比 (-)	第121期計画 (平成16/9月期)	計画比 (-)	第121期 増加計画 (-)	同左 達成率 /
営業収益	5,057	5,319	+262	5,550	231	+493	53.1%
営業総利益	23	463	+486	660	197	+683	71.2%
経常利益	364	150	+514	290	140	+654	78.6%
当期純利益	1,215	52	+1,267	160	108	+1,375	92.1%

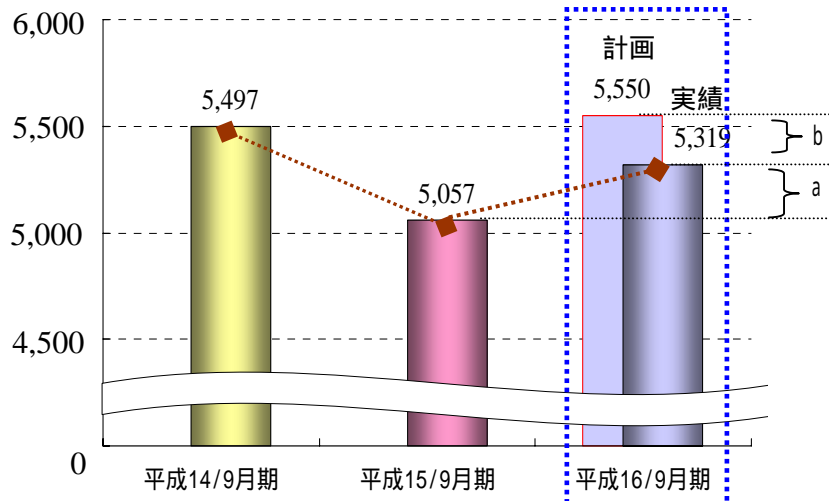
前期比では増収増益を達成し、すべての損益段階で黒字化を達成。
平成16/9月期増加計画の達成率は、営業収益で53.1%に留まったものの、当期純利益で92.1%の達成。

1-2 平成16年9月期 営業収益・営業総利益の実績



営業収益

(単位:百万円)



営業収益のポイント

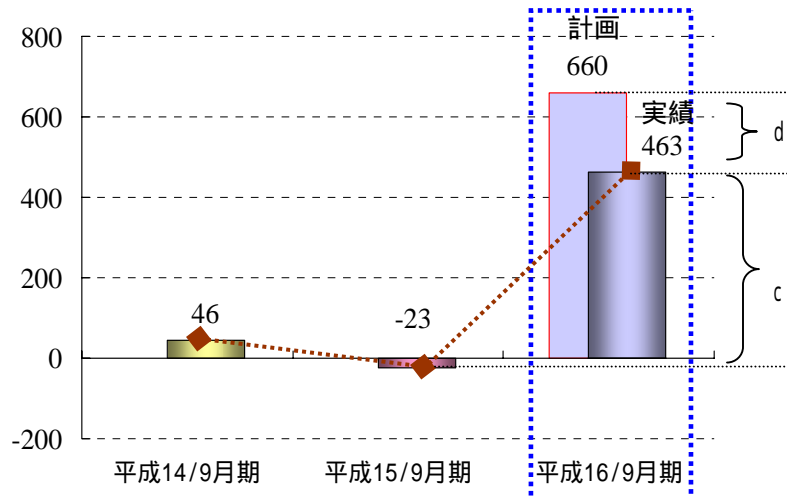
▶ 前期対比: 262百万円の増収

乳業を除く5事業部門(保険・不動産・観光・砕石・ゴルフ)で前期比増収

▶ 計画対比:

・実額 b 231百万円
 ・増加計画達成率 $a/(a+b)$ 53.1%

営業総利益



営業総利益のポイント

▶ 前期対比: 486百万円の増益

全事業部門で前期比増益を達成

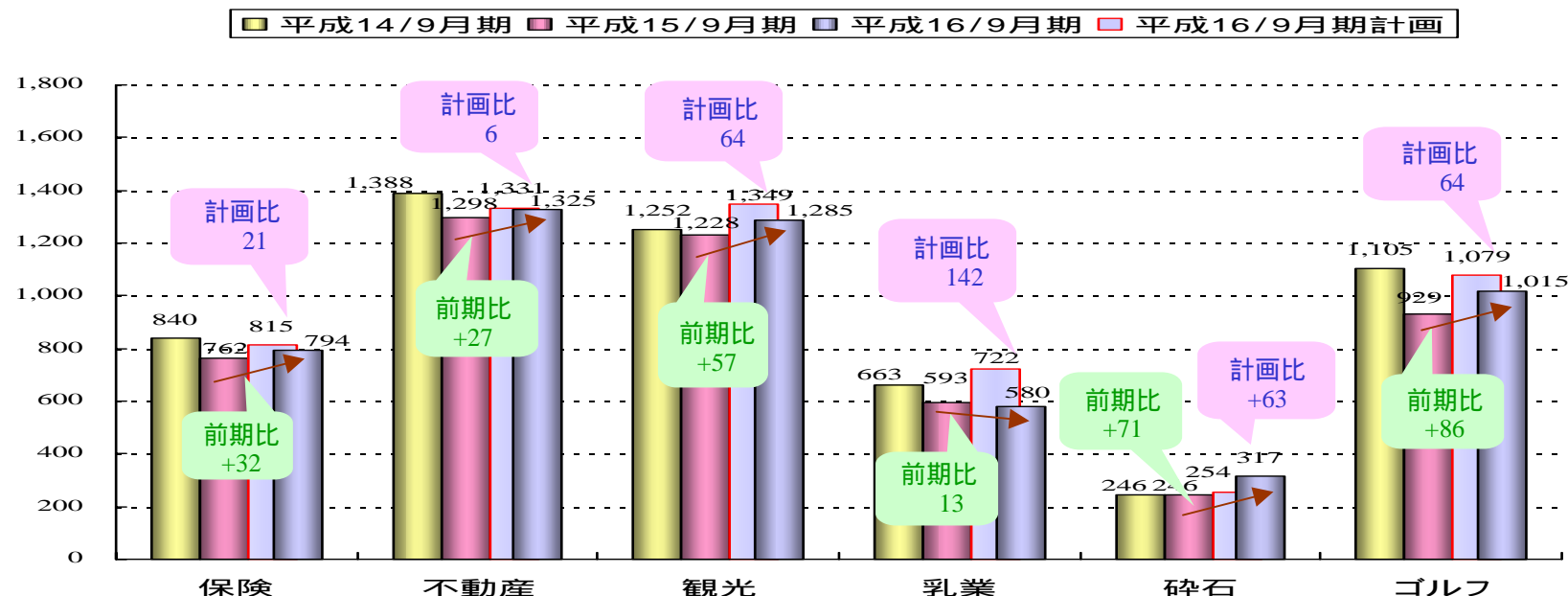
▶ 計画対比:

・実額 d 197百万円
 ・増加計画達成率 $c/(c+d)$ 71.2%

1-3 平成16年9月期 事業部門別実績(その1)

営業収益 3期間推移と計画達成状況

(単位:百万円)



保険

前期比 +32百万円 計画比 21百万円
生保分野が計画通りには伸びなかったが、新規取引先の獲得や多種目化の推進などにより、生保分野・損保分野ともに増収。

不動産

前期比 +27百万円 計画比 6百万円
下期後半に空室が発生したものの、それまでのフル稼働が奏効し増収。

観光

前期比 +57百万円 計画比 64百万円
カフェテリア・売店・食堂などが計画通りには伸びなかったが、温泉・四季菜園などでカバーし増収。

乳業

前期比 13百万円 計画比 142百万円
新規チャネル開拓奏効せず。既存取引先の取扱量も不振。

砕石

前期比 +71百万円 計画比 +63百万円
計画外の特別工事に基づく受注により増収。

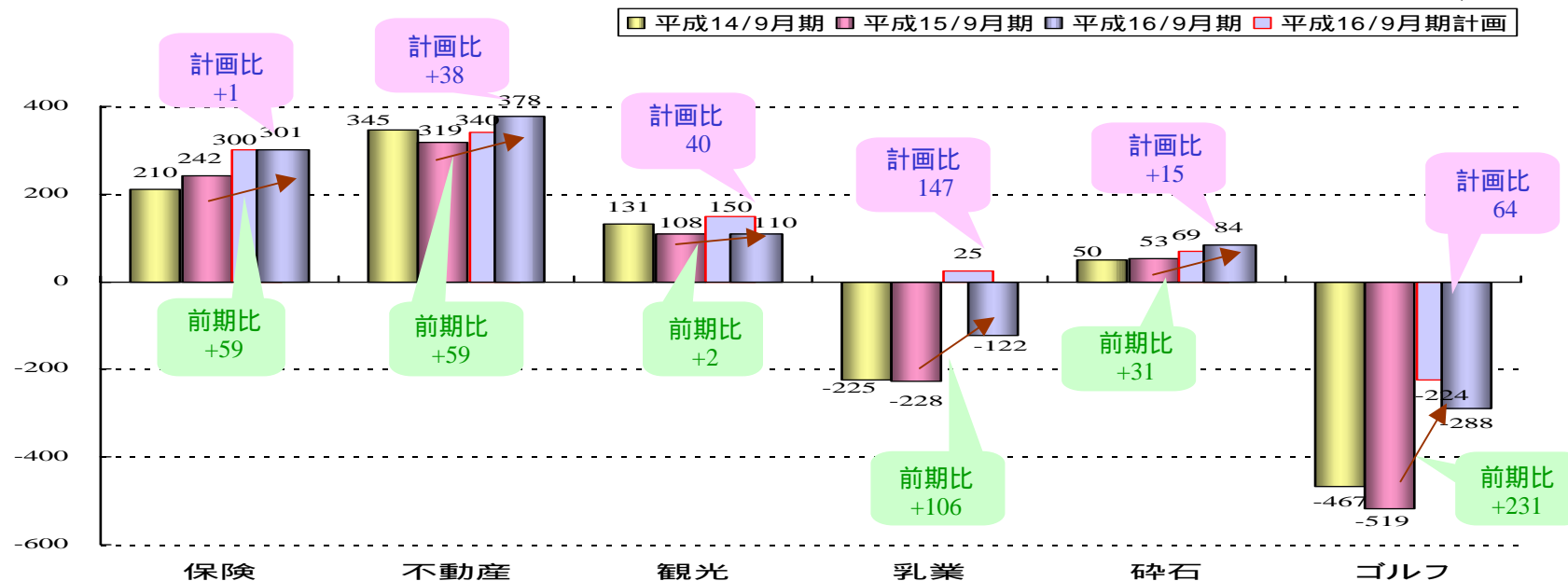
ゴルフ

前期比 +86百万円 計画比 64百万円
環境に合わせた料金引下げを実施、計画を上回る引下げとなったが、来場者数は過去最高を記録し増収。

1-3 平成16年9月期 事業部門別実績(その2)

営業総利益 3期間推移と計画達成状況

(単位:百万円)



保険

前期比 +59百万円 計画比 +1百万円
増収効果32百万円とコスト削減効果(人件費等)27百万円により増益。

不動産

前期比 +59百万円 計画比 +38百万円
増収効果27百万円とコスト削減効果(支払リース料等)32百万円により増益。

観光

前期比 +2百万円 計画比 40百万円
営業収益の計画比マイナスが影響したが、人員配置見直しの効果が下期後半に具現。

乳業

前期比 +106百万円 計画比 147百万円
営業収益の計画比マイナスが影響したが、人件費及び流通コスト削減により、損益は106百万円改善。

砕石

前期比 +31百万円 計画比 +15百万円
経費(運賃)が増加するも、増収により吸収し計画達成。

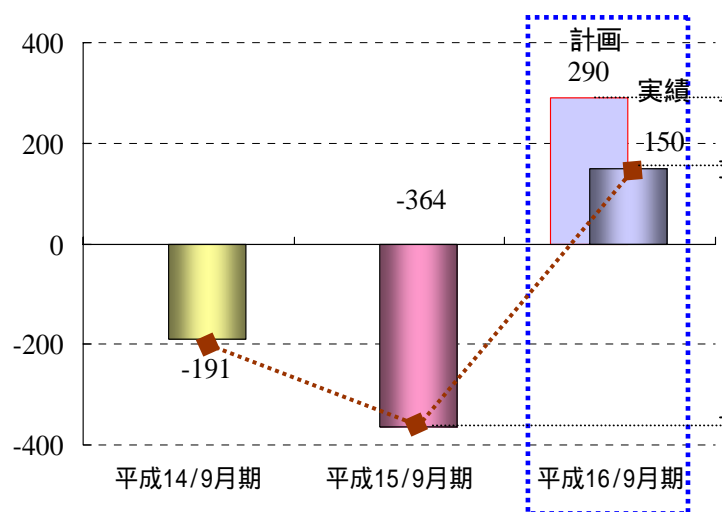
ゴルフ

前期比 +231百万円 計画比 64百万円
勤務体系の見直し等により損益改善。償却前営業総利益は37百万円と黒字化を達成。

1-4 平成16年9月期 経常利益・当期純利益の実績

経常利益

(単位:百万円)



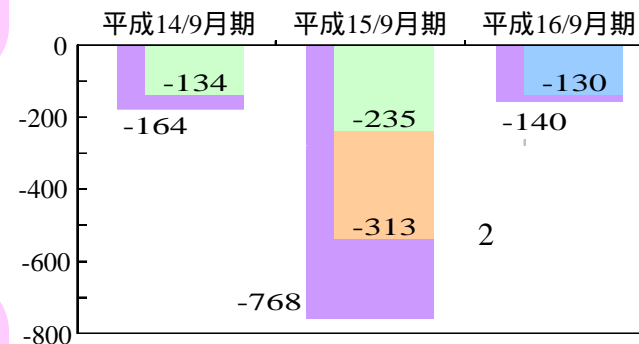
計画比

・実額 b
140
・増加計画達成率
 $a/(a+b)$
78.6%

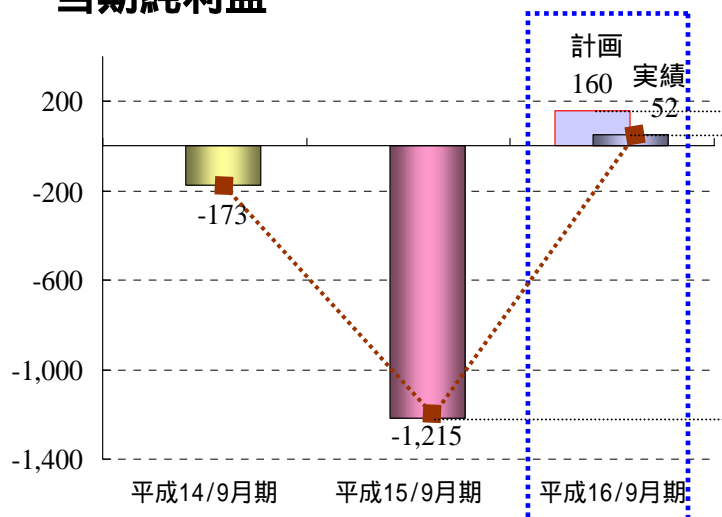
前期比
+514

特別損失

■ 有価証券売却損 ■ 特別退職金
■ 有価証券評価損 ■ 全体



当期純利益



計画比

・実額 d
108
・増加計画達成率
 $c/(c+d)$
92.1%

前期比
+1,267

利益準備金取崩
により繰越損失解消

- 平成16/9月期
早期退職に伴う特別退職金計上。
- 平成15/9月期
金融商品の含み損失一掃。

2-1 平成17年9月期 計画サマリー

(単位:百万円)

	前期実績 (平成16/9月期)	今期計画 (平成17/9月期)	前期比	ニュー・テイクオフ・ プラン (*)	ニュー・テイクオフ・ プラン対比
営業収益	5,319	5,690	+371	6,120	430
営業総利益	463	800	+337	1,096	296
経常利益	150	350	+200	790	440
当期純利益	52	300	+248	440	140

平成17/9月期は、安定的黒字定着化に向け、「攻め」の営業を展開

黒字部門(保険・不動産・観光・砕石) … 安定収益の確保に向けた諸施策を実施

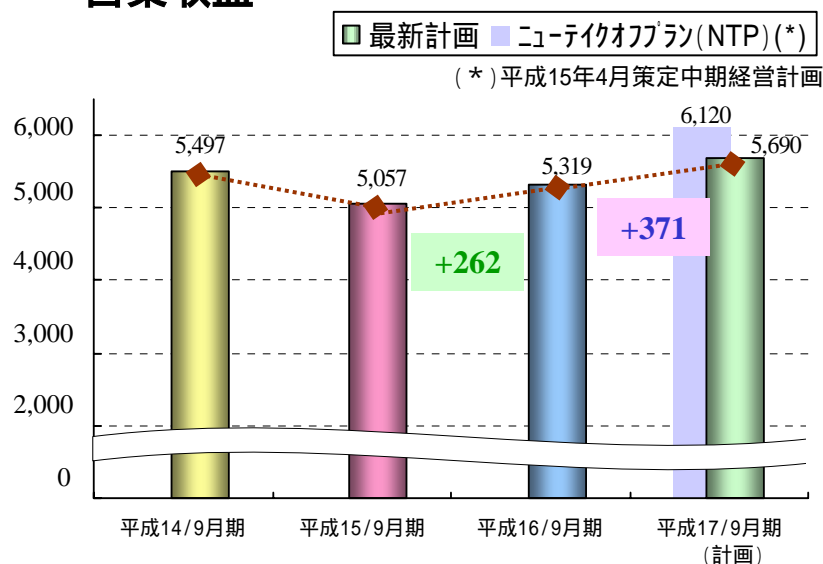
赤字部門(乳業・ゴルフ) … 早期黒字化に向けた諸施策を実施

(*)ニュー・テイクオフ・プラン : 平成15年4月策定中期経営計画

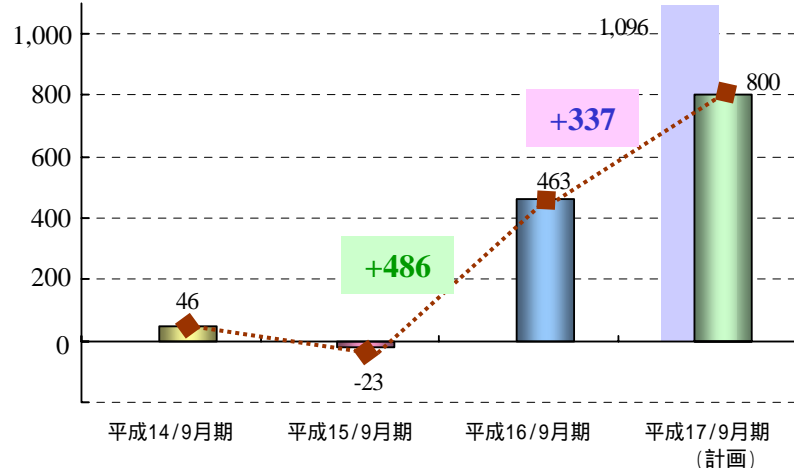
2-2 平成17年9月期 営業収益・営業総利益の計画

営業収益

(単位:百万円)



営業総利益



～平成17/9月期計画のポイント～

安定的黒字の定着化

前期比

営業収益 前期比371百万円
営業総利益 前期比337百万円

- ▶ 人件費削減などのコスト削減策は平成16/9月期で収束。
- ▶ 平成17/9月期は「攻め」の営業に転換し、安定的な黒字を定着化させる。

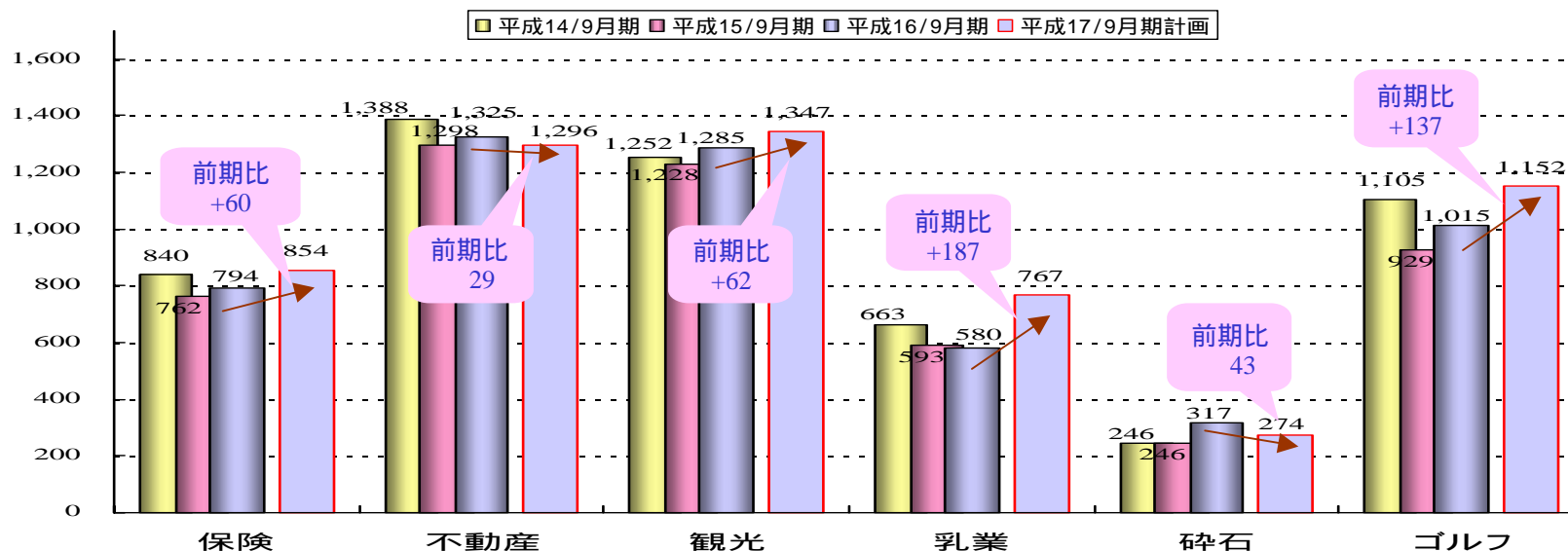
平成15年4月策定のニュー・テイクオフ・プランからはほぼ1年程度の遅れ。

- ▶ 保険・不動産・砕石の各部門は「安定運営」に注力し、安定的な利益確保を目指す。
- ▶ 乳業・観光・ゴルフの各部門は「収益増強」に注力し、損益の一層の改善を目指す。

2-3 平成17年9月期 事業部門別計画概要(その1)

営業収益 計画概要

(単位:百万円)



各事業部門の取り組むべき課題

保 険

- 攻めの営業体制の確立
- コンサルティング力の強化
- 新規チャネルの開拓による基盤拡充
- 事務効率化の推進

不動産

- ビルグレードの維持
- テナント訴求力の高いビル運営

観 光

- 集客力アップにつながる営業活動推進
- 既存設備の見直しと運営の合理化

乳 業

- 牧場: 良質な原乳確保と生産性向上
- 生産: 良質な製品の生産・開発
- 販売: 営業戦略の見直し

砕 石

- 需要動向を注視した取引先の確保
- 原価率の低減

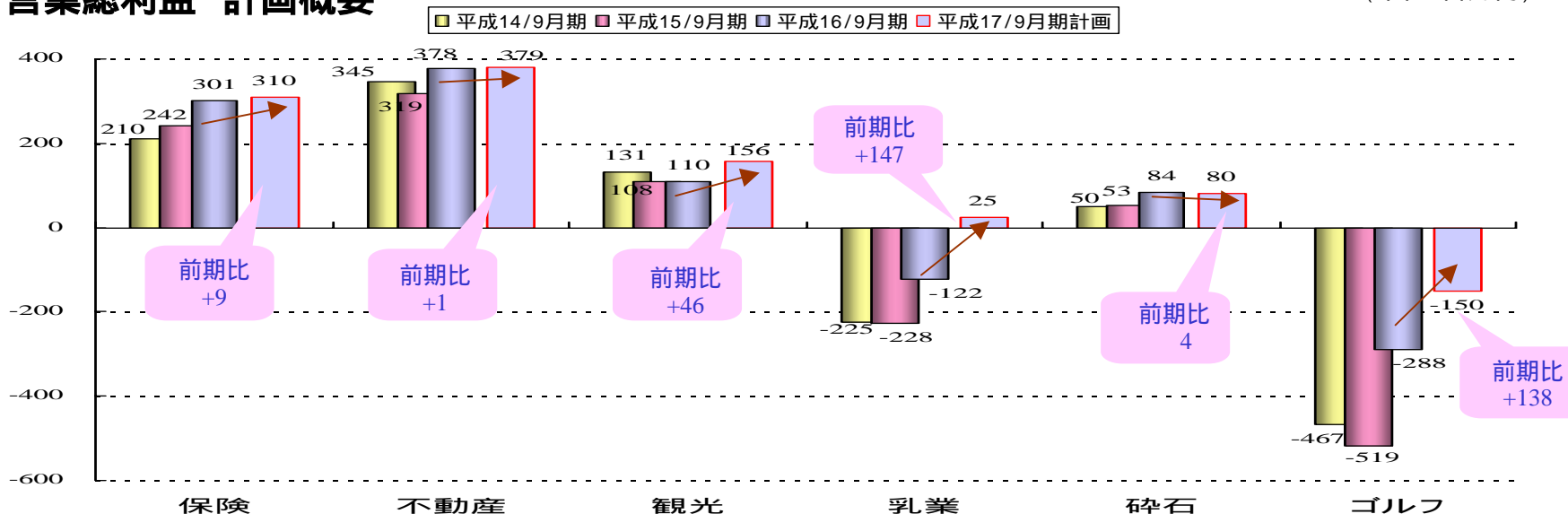
ゴルフ

- 営業戦略の見直し・強化
- 高品質なコースの維持
- 運営コスト削減の継続

2-3 平成17年9月期 事業部門別計画概要(その2)

営業総利益 計画概要

(単位:百万円)



各事業部門の具体的施策

保 険

損保分野:既存先の多様化推進と
新規チャネルの開拓
生保分野:オーナー事業者の開拓、既
存損保取引先への営業強化

不動産

常時満室化
賃料の維持

観 光

観光客に加え、地元顧客の開拓
広大な自然を活かした施設づくり
人員配置の見直し等による効率化の徹底

乳 業

既存取引先の取扱店舗拡大
量販店新規取引先の拡充
ソフトクリームショップの出店

砕 石

大手・個人建設業者の確保
生コン向け骨材の大口先確保
運賃をはじめとする原価の削減

ゴルフ

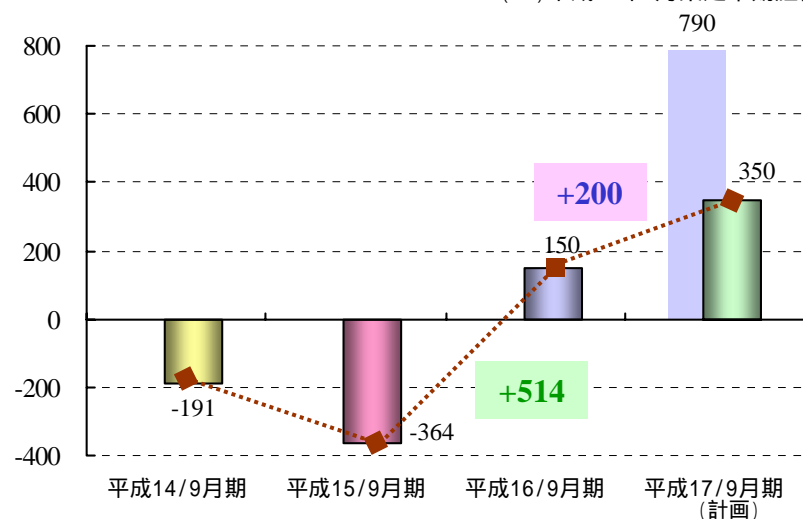
来場客数増加対策
・トップシーズンの営業日数増加
・1泊2プレーの推進
冬場のコスト削減の徹底

2-4 平成17年9月期 経常利益・当期純利益の計画

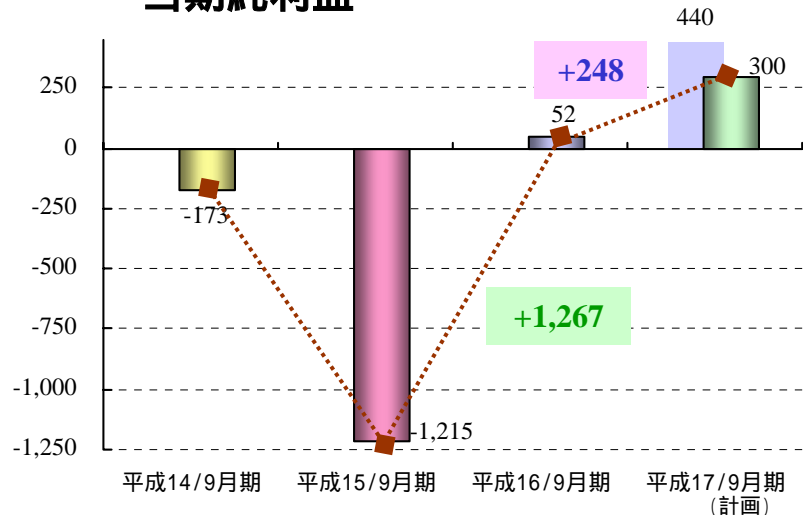
経常利益

■ 最新計画 ■ ニューテイクオフプラン(NTP)(*)

(*)平成15年4月策定中期経営計画



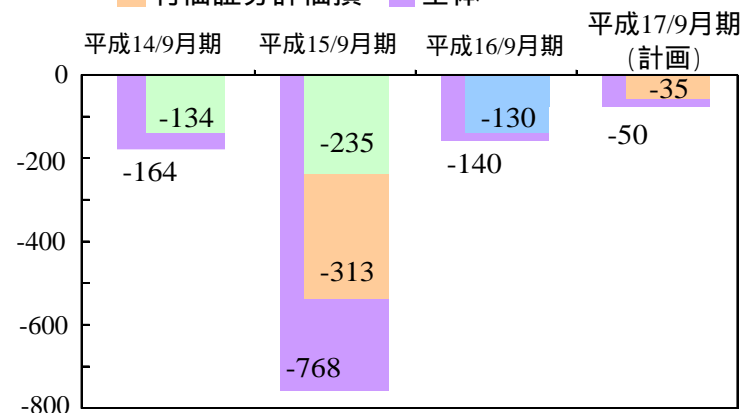
当期純利益



(単位:百万円)

特別損失

■ 有価証券売却損 ■ 特別退職金
■ 有価証券評価損 ■ 全体



▶ 金融商品の含み損失一掃や人員削減などのリストラは、平成16/9月期までに前倒して実施。

平成15年4月策定のニュー・テイクオフ・プランからはほぼ1年程度の遅れ。

(ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移



(単位:百万円)	平成12年9月 通期	平成13年9月 通期	平成14年9月 通期	平成15年9月 通期	平成16年9月 通期
営業収益	6,095	6,156	5,497	5,057	5,319
経常利益	243	196	-191	-364	150
純利益	159	68	-173	-1,215	52
総資産額	34,059	32,906	31,948	30,600	30,679
内 現預金	3,257	3,994	2,901	3,383	4,091
総負債額 (*)	23,150	22,219	21,342	21,107	21,131
内 預り保証金	22,058	21,407	20,516	20,338	20,331
純資産額	10,908	10,687	10,606	9,493	9,548
内 資本金	4,340	4,340	4,340	4,340	4,340
1株当たり純資産額	776.96円	761.18円	755.77円	676.83円	680.97円
自己資本比率	32.0%	32.5%	33.2%	31.0%	31.1%
従業員数 (名)	303	294	272	260	186
(他平均臨時雇用者数)	(59)	(60)	(59)	(59)	(113)

(*)有利子負債 ゼロ

(ご参考) 事業内容のご紹介



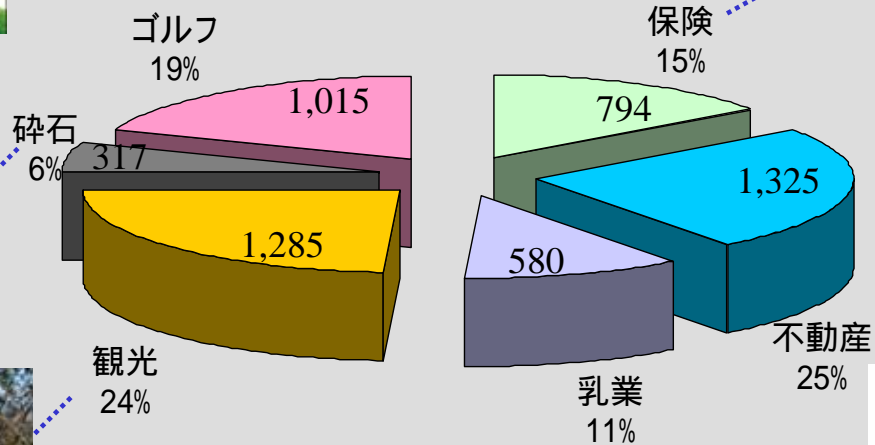
ホウライカントリー倶楽部
西那須野カントリー倶楽部の運営

砂・砂利・砕石等の生産・販売



レジャー施設・レストランの運営
土産品・乳製品等の販売

売上構成 (平成16年9月期実績) (単位:百万円) 合計 5,319百万円



損害保険代理店業務
生命保険募集業務



乳製品(牛乳・アイスクリーム・ヨーグルト)の製造・販売



ビル・不動産の賃貸・管理